

事例研究で投稿する方たちへ

中京大学経営学部
銭佑錫

「現象そのものを大切にする。自分の目で確かめる。生物学の王道だからです。」

(大隅義則)

目次

- ・なんのための事例研究なのかを明確に意識
- ・事例の意味付け
- ・手続きの厳密性をアピールする

事例研究の意味は？

- 苦労して会社にコンタクトを取って、会社に出かけてインタビューをして、それを用いて研究論文にする意味は？
- 自分がやっている仕事の意味を分かる必要
- ただ、ほかのみんながやるからやるでは、本質を失いやすい

- ・「科学とは、なにが本当のことなのかを明らかにすること」(中谷)
- ・観察⇒仮設(理論)⇒実験⇒検証(再現可能性)
- ・明らかにすべき「現象」の知識が大前提
 - 太陽は東から昇って西に沈む
 - 雨が降る
 - 夏は暑い
 - 悲しいと涙が流れる
 - 手を放すと物が落ちる、などなど

経営学の場合

- 明らかにすべき対象(現象)への接近が非常に制限されている。
(企業秘密だったりする)
 - 新聞、ビジネス系雑誌、論文、著書、有価証券報告書、アニュアル・レポート、ホームページ、社史などの2次データ
(バイアス、すでに視点を、制限された内容)

何を明らかにすべきか？

すらを分からぬ場合が多い

実体が分からぬ



リサーチ・クエスチョン、そのものを見つけにくい！

経営学における事例研究

- ① 明らかにすべき対象探し
(リサーチ・クエスチョン探し)
 - ② リサーチ・クエスチョンへの答え探し
- 「前者だけでも、十分**価値**がある」
これがないとリサーチ・クエスチョンが探せない

ただし、

なんでも調べて述べればいいというわけではない

- ・見てきたぞー
- ・とりあえず、、、

学会などでは、
拍手喝采

投稿すると、リジェクト
急に基準が厳しくなった？

意味のある事例

ブラック・スワン(井上)

通説では説明できない事例

⇒ 研究ノート

+ その事例に対する新たな説明(因果関係)

⇒ 研究論文！

投稿の時には、

- ・ ブラック・スワンであることを強調する
- ・ 説明が不十分なときは、「研究ノート」で投稿
「一粒で二度おいしい」
- ・ でも、ブラック・スワンに出会うのは「まれ」？
- ・ 最初に取った白鳥がブラック・スワンである可能性は低い

投稿の時には、

- ホワイト・スワンであっても、白くない部分を探して強調
- 白さを強調する事例研究 ×
○○先生の理論で説明できる！ ×
- 事例による検証は可能か？ ×

- 知識や経験がないと、全部ブラックに見えた
り、一部の白くない部分が目に入らない
- 事例の意味を見出すためには、既存理論の
知識となるべくたくさんの事例が必要
（指導教授や先輩の活用）
- 2社以上の比較研究が有利
シングルケースではなかなか通りにくい

手続きの厳密さ

- ・アピールすると良い
 - ・面白さとのトレードオフ（例えば、録音）
(経営学の特殊性) = 直接的な利害関係者
- ⇒ 手続きの厳密性は絶対的ではない。
かといって、無視することもできない。

整理

- なんのための事例研究なのかを明確に意識
研究ノートか、研究論文か、
- 事例の意味付け
小さくても黒い部分を強調する
- 手続きの厳密性をアピールする